

新たな機能を創るシーティング・ラミネーティング・コーティング技術

恵和株式会社

全国
21

関西
21

ISO 9001

ISO 14001

<http://www.keiwa.co.jp/>

Company Profile

恵和株式会社

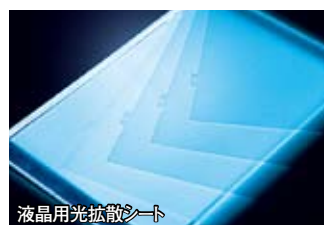
住 所／〒533-0006
大阪市東淀川区上新庄
1-2-5
創 業／昭和23年
設 立／昭和23年
資本金／2億3,000万円
従業員／414名
T E L／06-6327-1531
F A X／06-6327-1564

■主な事業内容

防錆紙、防湿紙、工程紙、農業
資材、建材、ラベル製品、太陽
電池用部材、液晶用光学シート
といった各種機能材の開発・製
造・販売

■主な取引先

鉄鋼・製紙・電子部品など
の国内、海外各種メーカー



液晶用光拡散シート

当社のセールスポイント

「開発経営」が恵和の根幹。
常に新たな可能性を追って
次の一手を考えています。



代表取締役社長
長村 恵弼さん

恵和は、お客様のニーズに耳を傾け、次に来るもの、時代の要望を読み取り、常に次の一手を考えながら研究・開発を進めています。「開発経営」こそが恵和の恵和たる存在価値であると考えています。昨年から3E (Economical Ecological Extreme) のスローガンのもとに、新しいチャレンジがスタートしています。



次代のシートを 創造する 光・機・創・感企業

恵和という社名には、「自然の恵み、天の恵みと調和する」という思いのもと、自然との調和を図りながら独自の技術と創造力を活かし、常に新しい可能性を追求していこう、という決意が込められている。

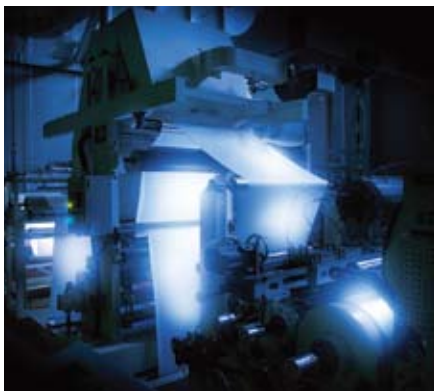
恵和は、昭和23年創業以来、業界のパイオニアとして創意工夫のもとに、紙とプラスチックの出会いをプロデュースしてきた。基幹事業として、重包装用やワンプ用等の各種ラミネート紙、防錆紙、セパレーター、アルミ蒸着ラベル、タック紙、各種工程紙、農業用シート、建材用シートといった機能材を製造している。また、そこで培ったコア技術（SLC技術・シーティング・ラミネーティング・コーティング）を活用し、太陽電池市場や光学市場といった成長市場にも次々と製品ブランドを創出している。

他社の追随を許さない 技術力で新分野を開拓する

平成になって参入した液晶ディスプレイ市場では、恵和独自のビーズコーティング・フィルムを開発。液晶のバックライトに使えば輝度を10～30%アップしながら光も拡散できる。さらに、消費電力の低減にも一役買うという優れた特性に、液晶メーカーから次々と引き合いが寄せられ、市場トップを占める製品となった。近年は、ディスプレイ市場が大幅に拡大し、韓国、台湾、中国の競合先が次々と出現し、コストダウンの流れで安価タイプが増加している。しかし、ディスプレイの表面に近い保護拡散については、特に高度な光学設計技術が必要であるため、恵和は、他社の追随を許さない技術で業界をリードしている。

「試験・試作の夢サロ ン」恵和・テクノラボ」

精密コーティングやフィルム製膜、



ラミネートをはじめとする独自の創膜技術など、恵和の開発力を支えているのが「恵和・テクノラボ」だ。開発中の薄膜系太陽電池用のバックシートの評価試験のため日本に数台しかない、0.0001g/m²/24時間での透湿性を測定できる装置など、最新鋭の分析・測定・試験機器を配備し、SLC技術（シーティング・ラミネーティング・コーティング）を基幹として、精密（メディカル、光学）技術、ナノテクノロジーなどに積極的に取り組んだ技術開発を進めている。